

<利用団体に実施していただきたい対策>

事前準備

●利用時間の短縮検討

- ・利用時間の短縮や、休憩をこまめにとるなど参加者間の接触時間の短縮に努めてください。
- ・終了後は、滞留せずに速やかに退館するよう参加者を促してください。

●参加者数等の検討

- ・参加人数を定員の半数程度にするなど参加者数の見直しや席配置を検討し、室内が3密にならないよう十分配慮してください。
- ・施設内では参加者は必ず「入館者パス（シール）」を着用してください。「入館者パス（シール）」を着用されていない方がおられた場合は、スタッフがお声がけて確認したり、今後の利用をお断りすることがあります。

●参加者への事前周知

- ・参加者に対して、依頼事項と講ずる対策等について、事前にウェブサイト、メール、SNS等により周知してください。
- （依頼事項）マスク着用、感染症予防対策・社会的距離の徹底、大人数での来館禁止、来場・参加を控えていただくケース（下記参照）、来場前の自宅等での検温実施、氏名連絡先情報の把握と提供

<来場・参加を控えていただくケース>

- ① 37.5度以上の発熱がある方、または発熱が続いている方
- ② 咳・咽頭痛などの症状がある方
- ③ ご自身の体調に不安のある方
- ④ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある方
- ⑤ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 等

●参加者情報の把握と情報提供

- ・全参加者の氏名、連絡先を把握し、感染や感染が疑われる事案が発生した場合は、参加者名簿の保健所等への情報提供にご協力ください。

当日の対応

●参加者の健康状態の把握と参加制限

- ・全ての参加者の体調の把握、渡航歴の把握、来場前に自宅等で検温をお済ませください。
- ・検温の結果、37.5度以上の発熱がある場合や、上記<来場・参加を控えていただくケース>の①に該当する症状がある場合は、参加を制限してください。

●マスク着用と手洗い、手指消毒の徹底

- ・全ての参加者のマスク着用と、こまめな手洗いや手指消毒を徹底してください。
- ・各利用施設内の参加者用の手指消毒アルコール消毒液は、各団体に設置してください。
- ・マスク非着用者には、マスク提供や参加制限等の対応を行ってください。

●入場列の整理、誘導

- ・来館時や入室時に入場列が生じる場合は、人と人の間隔が1 m以上となるよう整理スタッフを配置してください。

●検温の実施と参加制限

- ・参加者に対してできるだけ検温を実施し、発熱や体調不良があった場合は、会議参加を制限してください。（検温を行う際は、各利用部屋内で行ってください。体温計の貸出しはありません）

●配付物の手渡し禁止

- ・配布物は、机置きにするなど参加者自身が取的方式を取ってください。

●窓や扉を開けて換気

- ・各利用部屋の窓を開けて、換気に努めてください。換気後は窓の鍵を閉めてください。窓のない場合は、休憩中などに扉を開けて換気に努めてください。

●着席間隔の確保の検討

- ・1席空けて座る、対面を避けるなど、参加者間の間隔が1 m程度以上となるようにしてください。

●参加者間の十分な距離の常時確保（準備、会議、片付け等）

- ・参加者間で、準備、会議、片付けを通じて十分な距離を確保してください。

●機材、備品等の共有禁止（取扱者を特定）

- ・機材や備品等は共有使用をできるだけ避けてください。やむを得ず共有する場合は、取扱者を特定して使用してください。

●ゴミの持ち帰り

- ・施設利用時に出たゴミは、お持ち帰りください。

ご利用後の対応

- ご利用前にお渡しするチェックシートにご記入の上、鍵返却時に受付へ提出してください。

- 参加者等に感染が疑われた場合の対応と協力（迅速な館への報告と保健所聞き取り等）

- ・万一、参加者に感染や感染が疑われる事案が発生した場合は、早急に隔離や参加停止等の措置を取ってください。

- ・上記の場合、直ちに当館スタッフへ報告し、台東保健所等の調査に最大限協力をお願いします。

（台東保健所 保健予防課感染症対策担当 直通電話：03-3847-9476）

<東京文化会館が実施する対策>

- 館内の定期的な清掃、消毒
- お貸出しする部屋の鍵、機材、備品等の消毒
- 施設入口等に消毒液設置
- 施設内に感染症予防対策、社会的距離等、協力事項のポスター掲示
- 会議室受付カウンターの飛沫防止対策（アクリル板設置）
- 会議室受付スタッフのフェースシールド、手袋の着用
- トイレの蓋閉め啓発掲示
- 関係スタッフのマスク着用
- 関係スタッフの健康状態の把握